

[2145] 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
英語C I			演習	杉本久美子	4年	前期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30		1					期末試験 70 有	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 授業内活動 30 有 その他	
	○	○	—	○	—	○	—	—	計 100	
	フィードバックの方法									
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 時事問題に関してメディア英語を通して理解を深める。		≪汎用的技能≫ 時事英語の特性およびICTの活用による情報獲得能力を身につける。			≪態度・志向性≫ 生涯にわたって英語を学ぶ姿勢と方法を習得する。			期末試験は採点后返却し、解答の説明を行う。授業内活動と提出物についてはその都度内容確認と所見を伝える。 アクティブラーニングの有無(内容) 有	
授業概要	様々なメディアを通して発信される世界中のニュースに英語で触れることによって、世界の現状を知る。社会・文化・教育・科学・環境問題など多様な英語に接し、Reading, Listening, Speaking, Writingといった英語運用能力を多角的に培えるようにする。							授業内での書き取り、英文和訳等		
授業の到達目標	時事英語の特性を理解し、ニュース英語の基礎的知識を習得する。媒体によって異なる英語の特性を把握し、ニュース内容を把握する基礎的能力を身につける。									
単位認定の要件	期末試験(70%)授業内活動(30%)の合計が60点以上で単位認定とする。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	授業概要説明(使用テキスト、授業展開方法、成績評価方法について)Unit 1 導入 ※動画視聴 / 書き取り / 英文内容確認等の活動含む。各回同様。 予習:(30分) 使用テキストの内容確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。 ※予習に関しては2回目からは授業内にて指示。復習は各回同様。								
	2	Unit1: Studying in the Metaverse メタバース学習塾 ① ※①、②は視聴・書き取り・内容把握 ③は本文内容確認問題 予習:(30分) 復習:(30分)								
	3	Unit1: Studying in the Metaverse メタバース学習塾 ② 予習:(30分) 復習:(30分)								
	4	Unit1: Studying in the Metaverse メタバース学習塾 ③ 予習:(30分) 復習:(30分)								
	5	Unit2: Japanese Firms Switching to English Amid Engineer Shortage 人材不足で英語公用語 ① 予習:(30分) 復習:(30分)								
	6	Unit2: Japanese Firms Switching to English Amid Engineer Shortage 人材不足で英語公用語 ② 予習:(30分) 復習:(30分)								
	7	Unit2: Japanese Firms Switching to English Amid Engineer Shortage 人材不足で英語公用語 ③ 予習:(30分) 復習:(30分)								
	8	Unit3: Recycling Car Parts Into Fashion Treasure エアバッグが洋服に ① 予習:(30分) 復習:(30分)								
	9	Unit3: Recycling Car Parts Into Fashion Treasure エアバッグが洋服に ② 予習:(30分) 復習:(30分)								
	10	Unit3: Recycling Car Parts Into Fashion Treasure エアバッグが洋服に ③ 予習:(30分) 復習:(30分)								
	11	Unit4: Japanese Family Steps Up to Support Evacuee ウクライナ避難者に寄りそう ① 予習:(30分) 復習:(30分)								
	12	Unit4: Japanese Family Steps Up to Support Evacuee ウクライナ避難者に寄りそう ② 予習:(30分) 復習:(30分)								
	13	Unit4: Japanese Family Steps Up to Support Evacuee ウクライナ避難者に寄りそう ③ 予習:(30分) 復習:(30分)								
	14	Unit5: Mixing Art With Online Meetings ズームアーティスト、松岡智子 ① 予習:(30分) 復習:(30分)								
	15	Unit 5: Mixing Art With Online Meetings ズームアーティスト、松岡智子 ② 前期授業総括 予習:(30分) 復習:(30分) 前期学習内容の確認と復習。								
教科書・教材	『NHK NEWSLINE 7』山崎達郎・Stella M. Yamazaki 編著 KINSEIDO ¥2500+税									
参考書・参考文献等	特になし。									
履修上の注意等	メディア英語は難しいですが授業内活動に関しては受け身にならず、積極的に取り組むこと。									
実務経験との関連	実務経験の有無	無								

[2146] 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
英語CⅡ			演習	杉本久美子	4年	後期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士						
1	15	30		1					期末試験	70	有			
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 授業内活動 その他	30	有
	○	○	—	○	—	○	—	—	—	—	○	○	計	100
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		時事問題に関してメディア英語を通して理解を深める。									期末試験は採点后返却し、解答の説明を行う。授業内活動と提出物についてはその都度内容確認と所見を伝える。	アクティブラーニングの有無(内容) 有	
	≪汎用的技能≫		時事英語の特性およびICTの活用による情報獲得能力を身につける。											
	≪態度・志向性≫		生涯にわたって英語を学ぶ姿勢と方法を習得する。											
授業概要	様々なメディアを通して発信される世界中のニュースに英語で触れることによって、世界の現状を知る。社会・文化・教育・科学・環境問題など多様な英語に接し、Reading, Listening, Speaking, Writingといった英語運用能力を多角的に培えるようにする。										授業内での書き取り、英文和訳等			
授業の到達目標	時事英語の特性を理解し、ニュース英語の基礎的知識を習得する。媒体によって異なる英語の特性を把握し、ニュース内容を把握する基礎的能力を身につける。													
単位認定の要件	期末試験(70%)授業内活動(30%)の合計が60点以上で単位認定とする。													
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容												
	1	授業概要説明(使用テキスト、授業展開方法、成績評価方法について) 前期学習内容の確認 Unit 6 導入 予習:(30分) 前期学習内容を復習しておく。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。 ※予習に関して2回目からは授業内に指示。復習は各回同様。												
	2	Unit 6: Deer Ramen 山梨ジビエラーメン ① ※視聴/書取り/内容把握等 予習:(30分) 復習:(30分)												
	3	Unit 6: Deer Ramen 山梨ジビエラーメン ② ※授業内活動は以下上記同上 予習:(30分) 復習:(30分)												
	4	Unit 6: Deer Ramen 山梨ジビエラーメン ③ 予習:(30分) 復習:(30分)												
	5	Unit 7: Making Sure the Message Is Heard 英語で語り継ぐ ① 予習:(30分) 復習:(30分)												
	6	Unit 7: Making Sure the Message Is Heard 英語で語り継ぐ ② 予習:(30分) 復習:(30分)												
	7	Unit 7: Making Sure the Message Is Heard 英語で語り継ぐ ③ 予習:(30分) 復習:(30分)												
	8	Unit 8: Think Globally, Graze Locally 飼料高騰にライ麦 ① 予習:(30分) 復習:(30分)												
	9	Unit 8: Think Globally, Graze Locally 飼料高騰にライ麦 ② 予習:(30分) 復習:(30分)												
	10	Unit 8: Think Globally, Graze Locally 飼料高騰にライ麦 ③ 予習:(30分) 復習:(30分)												
	11	Unit 9: A Sea Turtle's Tale ウミガメの絵本 ① 予習:(30分) 復習:(30分)												
	12	Unit 9: A Sea Turtle's Tale ウミガメの絵本 ② 予習:(30分) 復習:(30分)												
	13	Unit 9: A Sea Turtle's Tale ウミガメの絵本 ③ 予習:(30分) 復習:(30分)												
	14	Unit 10: "Robot Cafe" Showcases AI's Potential 自販機で示すAIの可能性 ① 予習:(30分) 復習:(30分)												
	15	Unit 10: "Robot Cafe" Showcases AI's Potential 自販機で示すAIの可能性 ② 後期授業総括 予習:(30分) 復習:(30分)												
教科書・教材	『NHK NEWSLINE 7』山崎達郎・Stella M. Yamazaki 編著 KINSEIDO ¥2500+税													
参考書・参考文献等	特になし。													
履修上の注意等	メディア英語は難しいですが、授業内活動に関しては受け身にならず、積極的に取り組むこと。													
実務経験との関連	実務経験の有無	無												

[2240] 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
教育史			講義	齋藤雅俊	4年	前期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無		
			必修		選択		小学校	幼稚園	保育士			
2	15	30			2		☆		□	期末試験		
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末レポート 55 無 授業内小テスト 授業内提出物 45 有 授業内活動 その他 計 100 フィードバックの方法	
	○ ○ ○		○ — — ○ ○				○ — — — — ○					
	≪知識・理解≫ 教育史の歩みについての理解		≪汎用的技能≫ 前項目について口頭、文章等で説明				≪態度・志向性≫					コメントペーパー返却
	≪知識・理解≫ 教育史の歩みについての理解		≪汎用的技能≫ 前項目について口頭、文章等で説明				≪態度・志向性≫					アクティブラーニングの有無(内容) 無
	≪知識・理解≫ 教育史の歩みについての理解		≪汎用的技能≫ 前項目について口頭、文章等で説明				≪態度・志向性≫					アクティブラーニングの有無(内容) 無
授業概要 「教育原理」で概説した教育思想の流れを振り返り、再確認しながら、より発展的で深い教育史の知識に触れていく。そして、その時代ごとに要請された教育のあり方、数多の教育者・教育学者たちによる試行錯誤の軌跡を辿ることで、これからの教育が進むべき道、さらには各々が目指す教師としてのあり方についても考えを深めていく。												
授業の到達目標 教育実践のための基礎力を身につけるために、 ①これまでの教育史の歩みについて理解する。 ②前項目について理解・修得したことを授業内で口頭発表したり、試験・レポート等で論述できる。												
単位認定の要件 期末レポート(55点)+コメントペーパー等授業内提出物(3点×15回分)=60点以上												
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容								
			1	日本教育史 古代の教育(飛鳥～奈良～平安時代の教育) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
			2	中世の教育(鎌倉～室町時代の教育) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
			3	近世の教育(江戸時代の教育 藩校・寺子屋・私塾等) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
			4	近代の教育(1)(明治時代の教育) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
			5	近代の教育(2)(大正時代の教育) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
			6	近代の教育(3)(昭和戦前時代の教育) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
			7	現代の教育(1)(第二次世界大戦後の民主主義教育) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
			8	現代の教育(2)(高度経済成長期～平成) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
			9	西洋教育史 古代の教育(ギリシア・ローマの教育) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
			10	中世の教育(キリスト教、騎士の教育、大学の誕生、市民の教育) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
			11	近世の教育(ルネサンス・宗教改革と教育、自然科学の発達と教育) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
			12	近代の教育(1)(実学主義、敬虔主義、啓蒙主義) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
			13	近代の教育(2)(新人文主義、市民・産業革命と教育、近代公教育制度の確立) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
			14	現代の教育(1)(新教育運動の拡がり) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
			15	現代の教育(2)(第二次大戦後の教育改革) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
教科書・教材			特になし									
参考書・参考文献等			『オープンセサミシリーズ 教職教養Ⅰ[教育原理 教育史]』東京アカデミー等。また、パワーポイントによるまとめプリントを配布する。なお、配布物が多いため、各自綴じるためのファイルを用意すること。									
履修上の注意等			新聞・テレビなどの教育関連情報に関心をはらうこと。また、出欠の不正(中抜け、無断退出、代返、コメントペーパー代筆等)の他、成績評価に関わる全ての不正については単位認定を不可とする場合がある。									
実務経験との関連			実務経験の有無	無								

[2242] 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
人権教育論			講義	小野昇平	4年	前期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士								
2	15	30		2	☆				期末試験							
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート	70	有					
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、自ら課題へ適し、その課題を解決する能力》	授業内小テスト	
当該科目の キーワード	《知識・理解》		現代社会の人権課題						授業内の活動に対しては都度コメントをする。また期末レポートについてもコメントをつけて返却する。							
	《汎用的技能》		受講生同士の議論／人権問題の解決策						アクティブラーニングの有無 (内容)			有				
	《態度・志向性》		人権問題の解決のための教育													
授業概要	平成12年の人権教育及び人権啓発の推進に関する法律成立後、文科省も、現在に至るまで、学校や地域における人権教育の実施研究を推奨している。学校教育が基本的人権を尊重する形で行われなければならないことは当然としても、児童生徒自身も人権について「理解し」、「尊重」する人間として育てていくことも、学校の大事な役割である。この講義では、人権教育の導入経緯、目的、概要についての説明のほか、個別の人権課題の解決に向けて「学校でできること」を、受講生同士の議論を通じて考えていく。								授業内で教員が問いかけを行う。受講生同士の議論を行う。最終的に自身の考える教育計画を発表する。							
授業の到達目標	①人権課題について理解をすること ②学校における人権教育の方法について自分なりの考えをまとめて提示できること ③人権課題について理解しようとする姿勢															
単位認定の要件	上記①②③の観点からの評価が60%以上。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	人権教育とはどういうものか、何を指すのか 予習：人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]に目を通しておく(90分) 復習：学校の中で行う人権教育のあり方について[第三次とりまとめ]を読み直しておく(90分)														
	2	現代社会における様々な人権問題について知る 予習：[第三次とりまとめ]に書かれている諸人権問題についてWeb等で調べておく(90分) 復習：授業の中で紹介した諸人権問題に関する最近のニュースを調べる(90分)														
	3	女性に関わる人権問題を学校で扱うならどうするか 予習：女性にかかわる人権問題について[第三次とりまとめ]に目を通しておく(90分) 復習：授業の中で紹介した女性にかかわる人権問題に関する最近のニュース等を調べる。(90分)														
	4	子どもに関わる人権問題を学校で扱うならどうするか 予習：子どもにかかわる人権問題について[第三次とりまとめ]に目を通しておく(90分) 復習：授業の中で紹介した子どもに関わる人権問題に関する最近のニュース等を調べる。(90分)														
	5	障害者に関わる人権問題を学校で扱うならどうするか 予習：障害者にかかわる人権問題について[第三次とりまとめ]に目を通しておく(90分) 復習：授業の中で紹介した障害者に関わる人権問題に関する最近のニュース等を調べる。(90分)														
	6	性的マイノリティに関わる人権問題を学校で扱うならどうするか 予習：性的マイノリティにかかわる人権問題について[第三次とりまとめ]に目を通しておく(90分) 復習：授業の中で紹介した性的マイノリティに関わる人権問題に関する最近のニュース等を調べる。(90分)														
	7	高齢者に関わる人権問題を学校で扱うならどうするか 予習：高齢者にかかわる人権問題について[第三次とりまとめ]に目を通しておく(90分) 復習：授業の中で紹介した高齢者に関わる人権問題に関する最近のニュース等を調べる。(90分)														
	8	同和問題を学校で扱うならどうするか 予習：同和・部落差別問題について[第三次とりまとめ]に目を通しておく(90分) 復習：授業の中で紹介した同和・部落差別にかかわる人権問題に関する最近のニュース等を調べる。(90分)														
	9	アイヌ民族に関わる人権問題を学校で扱うならどうするか 予習：アイヌ民族に関わる人権問題について[第三次とりまとめ]に目を通しておく(90分) 復習：授業の中で紹介したアイヌ民族に関わる人権問題に関する最近のニュース等を調べる。(90分)														
	10	外国人に関わる人権問題を学校で扱うならどうするか 予習：外国人に関わる人権問題について[第三次とりまとめ]に目を通しておく(90分) 復習：授業の中で紹介した外国人に関わる人権問題に関する最近のニュース等を調べる。(90分)														
	11	HIV・ハンセン病問題を学校で扱うならどうするか 予習：HIV・ハンセン病問題について[第三次とりまとめ]に目を通しておく(90分) 復習：授業の中で紹介したHIV・ハンセン病問題に関する最近のニュース等を調べる。(90分)														
	12	犯罪被害者に関わる人権問題を学校で扱うならどうするか 予習：犯罪被害者に関わる人権問題について[第三次とりまとめ]に目を通しておく(90分) 復習：授業の中で紹介した犯罪被害者に関わる人権問題に関する最近のニュース等を調べる。(90分)														
	13	刑を終えた人に関わる人権問題を学校で扱うならどうするか 予習：刑を終えた人に関わる人権問題について[第三次とりまとめ]に目を通しておく(90分) 復習：授業の中で紹介した刑を終えた人に関わる人権問題に関する最近のニュース等を調べる。(90分)														
	14	インターネットに関わる人権問題を学校で扱うならどうするか 予習：インターネットに関わる人権問題について[第三次とりまとめ]に目を通しておく(90分) 復習：授業の中で紹介したインターネットに関わる人権問題に関する最近のニュース等を調べる。(90分)														
	15	まとめ—学校教育の中で人権について教育するためには、 予習：これまでの授業で扱ってきた人権問題について学校の中で児童生徒にどう伝えるか考えてくる(90分) 復習：授業内で他の受講者の発表を振り返り、その良かった点と課題をまとめる。(90分)														
教科書・教材	特になし															
参考書・参考文献等	講義の最初に指示する															
履修上の注意等	受講生同士の議論、積極的な発言が不可欠であり、評価の対象となるので、その点を意識した受講態度で臨むこと。															
実務経験との関連	実務経験の有無	無														

【2243】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
教育方法演習A			演習	一戸智之・杉本久美子	4年	前期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士				
2	15	30		2		☆			期末試験	無		
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解		≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル 数量的 スキル 情報リテラシー 論理的 思考力 問題 解決力			≪態度・志向性≫ 自己 管理力 チーム ワーク リーダー シップ 倫理 観 社会的 責任 生涯 学習 力					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、自ら課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート 無 授業内小テスト 無 授業内提出物 20 有 授業内活動 80 有 その他 無
	○		○			○					計	100
	フィードバックの方法											
	○		○			○						
当該科目の キーワード		≪知識・理解≫	各教科の教育方法に関する学修を通して得た基礎知識の体系的理解							授業内提出物等については返却する。		
		≪汎用的技能≫	アクティブラーニングによる論理的思考力と問題解決力の形成									
		≪態度・志向性≫								アクティブラーニングの有無 (内容)	有	
授業概要		3年次までに学修した小学校の各教科教育法の内容を補完することを目的として開講する。演習を中心として、教科等を学ぶ意義、各教科等の指導計画の作成と実施、学習指導の改善・充実、児童の発達を踏まえた指導、学習評価、学習指導要領等の理念を実現するために必要な方策等について理解を図り、実際の教育現場を想定した教育方法・技術の獲得をめざす。							グループワーク、グループディスカッション、模擬授業			
授業の 到達目標		大綱的な基準である各教科の学習指導要領の目標や内容の理解 本質的な意義の中核をなし、深い学びの鍵となる各教科の「見方・考え方」の理解 主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた実践的な教育方法・技術の体得										
単位認定の要件		担当教員が各回ごとに評価を行い、その平均を最終的な総合評価とする。										
		回	内 容									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)		1	授業概要説明、小学校英語教育(現状と各指導方法について)※1~8では模擬授業とワークショップ、指導案作成を含む。 予習:(45分)初回は「小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編」の学校段階別の目標および5つの領域別の目標内容の確認。 復習:(45分)本時の学習内容の復習と定着を図る。 ※予習に関しては以降各回の授業内にて指示。復習は各回同様。									
		2	インプットを意識した英語の授業:児童に英語の音声や文の仕組みを気付けさせる指導方法 予習:(45分)外国語(英語)教育法で学んだ指導方法を再度確認する。 復習:(45分)本時の学習内容の復習と定着を図る。									
		3	インタラクティブに重点をおいた英語の授業:教師と児童、児童どうしの英語のやり取りを促すタスクを活用する方法 予習:(45分)前時で学んだ指導方法を実践できるようにする。 復習:(45分)本時の学習内容の復習と定着を図る。									
		4	2つの思考スキル(CLI)における高次と低次の思考スキルを取り入れた英語の授業:学習内容と言語を絡み合わせる教材・指導方法 予習:(45分)前時で学んだ指導方法を実践できるようにする。 復習:(45分)本時の学習内容の復習と定着を図る。									
		5	音声から読み書きへ、音声から文字への5段階の活用/教科・言語の両面からの評価/アセスメントの種類とそれらの活用した授業について 予習:(45分)前時で学んだ指導方法を実践できるようにする。 復習:(45分)本時の学習内容の復習と定着を図る。									
		6	英語絵本の読み聞かせ:選別方法の確認と実践にむけての準備 予習:(45分)前時で学んだ指導方法を実践できるようにする。 復習:(45分)本時の学習内容の復習と定着を図る。発表内容について評価・コメントをする。									
		7	英語絵本の読み聞かせ(実践) 読み聞かせの実演と選別理由について説明する。 予習:(45分)前時で学んだ指導方法を実践できるようにする。 復習:(45分)本時の学習内容の復習と定着を図る。									
		8	言語活動を通してコミュニケーション能力を養い、文化理解を深める授業づくり(全8回総括) 予習:(45分)前時で学んだ指導方法を実践できるようにする。 復習:(45分)本時の学習内容および1~7回までの学習内容を再度復習し定着を図る。									
		9	授業の目的と概要 ~[共通事項]に示されている「音楽を特徴付けている要素」と「音楽の仕組み」の適切な組み合わせとこれらに関連させる方法 予習:(60分)「小学校学習指導要領解説 音楽編」の各領域及び[共通事項]に関する内容を確認し再読する。 復習:(30分)各自、学修課題を見出し、考察を深める。									
		10	弾き歌い実践①~「弾き歌い」の基本技術とリズム感の養成 予習:(60分)リズム感を向上させるための練習方法やリズムパターンについて考察し、適切な歌唱姿勢や音楽表現の基本を確認する。 復習:(30分)弾き歌いの実践経験を振り返り、成功した技術と改善の余地を検証し、課題を把握する。									
		11	音や音楽、言葉によるコミュニケーション:音楽科の特質と児童の音楽表現の多様性、音楽活動と言語活動とのバランスを考慮した授業設計方法 予習:(60分)グループワークを通して学習指導案の学習内容、学習活動、教師の働きかけ、評価規準等について検討する。 復習:(30分)グループディスカッションを通して指導案を中心に検討課題と改善点を精査し、今後の授業実践に生かす。									
		12	弾き歌い実践②~技術の習得と表現力向上のための個人レッスン 予習:(60分)自身の演奏や歌唱技術の現状を客観的に評価し、改善すべき点を洗い出すとともに、それらに対する対策を考える。 復習:(30分)取り組んだ技術や表現力の向上に関する成果を振り返り、次回の練習や授業に生かすためのアクションプランを立てる。									
		13	小学校音楽科の授業の基本的な設計と準備 予習:(60分)小学校音楽科のカリキュラムを把握する。教材や教具の選定について調査する。 復習:(30分)音楽授業の記録を振り返り、成功した要素と改善点を洗い出す。									
		14	クリエイティブな音楽体験を提供するための指導法と評価方法 予習:(60分)小学校音楽科のカリキュラムを把握する。教材や教具の選定について調査する。 復習:(30分)音楽授業の記録を振り返り、成功した要素と改善点を洗い出す。									
		15	弾き歌い実践③~曲の表現力を高めるための演奏方略と実践で求められる演奏技術 予習:(60分)教材の歌詞やメロディーを理解し、音楽的な表現の幅を広げる。 復習:(30分)歌唱やピアノ演奏の実践経験を反映させ、音楽的な表現力を高めるための新たなアプローチを模索する。									
教科書・教材		授業内で適宜紹介する										
参考書・ 参考文献等		授業内で適宜紹介する										
履修上の 注意等		3年次までに学修した教科教育法を補完することを目的として開講するため、各教科の指導法に関して、さらに理解の質を高め、実践的指導力の向上をめざしたい学生は履修することが望ましい。										
実務経験との 関連		実務経験 の有無	無									

[2244] 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
教育方法演習B			演習	齋藤雅俊・船水周・葛西美樹・工藤寧子	4年	前期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無					
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士						
2	15	30		2			☆			期末試験	無				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				期末レポート	無			
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	無
	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、自ら課題へ適し、その課題を解決する能力》											授業内提出物	20	有	
												授業内活動	80	有	
											その他		無		
											計	100			
											フィードバックの方法				
当該科目のキーワード		《知識・理解》		各教科の教教育法に関する学修を通して得た基礎知識の体系的理解								授業内提出物等については返却する。			
		《汎用的技能》		アクティブラーニングによる論理的思考力と問題解決力の形成								アクティブラーニングの有無(内容)		有	
		《態度・志向性》													
授業概要		3年次までに学修した小学校の各教科教育法の内容を補完することを目的として開講する。演習を中心として、教科等を学ぶ意義、各教科等の指導計画の作成と実施、学習・指導の改善・充実、児童の発達を踏まえた指導、学習評価、学習指導要領等理念を実現するために必要な方策等について理解を図り、実際の教育現場を想定した教育方法・技術の獲得をめざす。									模擬授業等				
授業の到達目標		大綱的な基準である各教科の学習指導要領の目標や内容の理解 本質的な意義の中核をなし、深い学びの鍵となる各教科の「見方・考え方」の理解 主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた実践的な教育方法・技術の体得													
単位認定の要件		担当教員が各回ごとに評価を行い、その平均を最終的な総合的評価とする。													
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容												
		1	国語科の模擬授業に向けた教材研究と学習指導案の作成 —理論と実践— 予習:(40分)教材研究と学習指導案の既習事項を確認し、模擬授業の教材を選定して初回の授業に持参すること 復習:(60分)各自、模擬授業のための学習指導案を完成させ、模擬授業の発表について準備を万全にしておくこと												
		2	国語科の模擬授業発表(第1グループ)とその模擬授業に対する批評 予習:(60分)第1グループの選定した教材について、内容や学年、学習指導要領などを事前に調べて知識を得ておくこと 復習:(30分)第1グループの模擬授業発表と、その模擬授業に対する批評から学んだことを箇条書きに整理すること												
		3	国語科の模擬授業発表(第2グループ)とその模擬授業に対する批評 予習:(60分)第2グループの選定した教材について、内容や学年、学習指導要領などを事前に調べて知識を得ておくこと 復習:(30分)第2グループの模擬授業発表と、その模擬授業に対する批評から学んだことを箇条書きに整理すること												
		4	国語科の模擬授業発表(第3グループ)とその模擬授業に対する批評 予習:(60分)第3グループの選定した教材について、内容や学年、学習指導要領などを事前に調べて知識を得ておくこと 復習:(30分)第3グループの模擬授業発表と、その模擬授業に対する批評から学んだことを箇条書きに整理すること												
		5	国語科の教材研究と学習指導案の作成について(まとめ) 予習:(60分)他の学習指導案と模擬授業を比べて、自分の意見をまとめておくこと 復習:(30分)全5回に渡る授業を通して、国語科の授業を行う上で留意すべき点を箇条書きに整理すること												
		6	「協力・協働」の視点を踏まえた家庭科の授業づくり 予習:(60分)学習内容の確認と学習指導案の作成 復習:(30分)模擬授業の振り返り												
		7	「健康・快適・安全」の視点を踏まえた家庭科の授業づくり 予習:(60分)学習内容の確認と学習指導案の作成 復習:(30分)模擬授業の振り返り												
		8	「生活文化の継承・創造」の視点を踏まえた家庭科の授業づくり 予習:(60分)学習内容の確認と学習指導案の作成 復習:(30分)模擬授業の振り返り												
		9	「持続可能な社会の構築」の視点を踏まえた家庭科の授業づくり 予習:(60分)学習内容の確認と学習指導案の作成 復習:(30分)模擬授業の振り返り												
		10	実践的・体験的な活動に主点を置いた家庭科の授業づくり 予習:(60分)学習内容の確認と学習指導案の作成 復習:(30分)模擬授業全体の振り返り												
		11	「道徳教育アーカイブ」でみる道徳科の授業実践 予習:なし 復習:なし												
		12	「A 主として自分自身に関すること」の視点を踏まえた道徳科の授業づくり 予習:(60分)模擬授業の準備 復習:(30分)模擬授業の振り返り												
		13	「B 主として人との関わりに関すること」の視点を踏まえた道徳科の授業づくり 予習:(60分)模擬授業の準備 復習:(30分)模擬授業の振り返り												
		14	「C 主として集団や社会に関すること」の視点を踏まえた道徳科の授業づくり 予習:(60分)模擬授業の準備 復習:(30分)模擬授業の振り返り												
		15	「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の視点を踏まえた道徳科の授業づくり 予習:(60分)模擬授業の準備 復習:(30分)模擬授業の振り返り												
教科書・教材		授業内で適宜紹介する。													
参考書・参考文献等		授業内で適宜紹介する。													
履修上の注意等		3年次までに学修した教科教育法を補完することを目的として開講するため、各教科の指導法に関して、さらに理解の質を高め、実践的指導力の向上をめざしたい学生は履修することが望ましい。													
実務経験との関連		実務経験の有無	有	(船水)											

【2708】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態			担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科					
生徒・進路指導			講義			齋藤昭			4年		前期		こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件						免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無						
2	15	30	必修		選択				小学校	幼稚園	保育士							
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力 を総合的に 利用し、自ら 設定し、適 用し、その 課題を解決 する能力》	期末試験		
			基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	期末レポート	50
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	
			○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	

【2711】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
事前事後指導(小)			演習	齋藤昭・小野昇平	4年	前期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30		1		○				
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末試験	
	基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーション スキル	数量的 スキル	情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力	自己管理能力 チームワーク リーダーシップ	倫理観 社会的責任 生涯学習力	《獲得した能力を 総合的に利用し、 自ら設定し、その 課題を解決する 能力》	期末レポート 50 有 授業内小テスト 授業内提出物 30 有 授業内活動 20 無 その他 計 100 フィードバックの方法	
当該科目の キーワード	《知識・理解》		目的・意義、規範意識							期末レポート、授業内提出物につ いては、コメントを記入し返却する。 質問については、講義の中で解説 していく。
	《汎用的技能》		課題解決の思考							
	《態度・志向性》		自己改善、他者理解							
授業概要	小学校での教育実習の意義と目的を理解する。また、教科・領域等の指導方法や学校生活全般の体験的な学びの中で、実習に臨むときの 問題意識を持つとともに、自らの課題を明らかにする。さらに、指導案の作成と授業、評価の観点、児童とのコミュニケーション方法など、 実習内容に即した演習を通して、自分の目指す教師像、教育観を形成するとともに、討論を通して他の学生が目指している教師像を理解 する。								グループディスカッション、グループ ワーク	
授業の 到達目標	①実習に向けて意義や教科指導・生徒指導(児童理解)について理解し、自らの課題を明らかにする。 ②教育実践上の課題を教育現場で克服する方法を考え、実践することができる。 ③自らの目指す教師像を持つことができ、他者にも伝えることができる。									
単位認定の要件	到達目標の①～③の合計が60点以上									
授業計画 (予習、復習の内 容・時間含む)	回	内 容								
	1	教育実習では何を学ぶのか(目的・意義) 予習:(60分)あなたは教師になってやってみたいことは何か、考えをレポートにまとめること。 復習:(60分)教育実習の意義について、統括的学習・教育と研究の統合実践・創造的体験の3視点からレポートにまとめること。								
	2	教育実習の実際 予習:(60分)グループクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(60分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	3	授業記録の取り方・実習録の書き方 予習:(60分)グループクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(60分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	4	学校の魅力・教師の魅力・教師の仕事の枠組み 予習:(60分)グループクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(60分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	5	学校の組織・校務分掌・保護者・地域連携 予習:(60分)グループクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(60分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	6	教師のモラル・学校のルール 予習:(60分)グループクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(60分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	7	学級経営の仕方 予習:(60分)グループクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(60分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	8	僻地校での教育・複式学級での授業 予習:(60分)グループクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(60分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	9	学習指導について 予習:(60分)グループクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(60分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	10	「主体的・対話的で深い学び」とは 予習:(60分)グループクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(60分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	11	学習指導案の作成 予習:(60分)グループクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(60分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	12	模擬授業を通して学ぶ 予習:(60分)グループクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(60分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	13	ICT機器の活用について 予習:(60分)グループクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(60分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	14	教育実習中の生徒指導・特別支援教育との関わり 予習:(60分)グループクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(60分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	15	教育実習直前ガイダンス ※事後指導として、実習終了の報告会を予定 予習:(60分)実習校の教育方針や学級目標を調べると共に、事前訪問の際に確認することをまとめること。 復習:(60分)実習後の学びの整理として、自己評価の観点についてレポートにまとめること。								
教科書・教材	適宜資料を配付する。									
参考書・ 参考文献等	・「小学校学習指導要領 総則」(文部科学省) ・「向日葵」(柴田学園大学 子ども発達学科) ・「教育実習ガイド」(時事通信社 玉川大学教師教育センター)									
履修上の 注意等	教育実習と対になっている演習であることから、教育実習の修了者が単位取得できる。またガイダンスが数回予定されているのでシラバスの他に学務課の掲示板で確かめること。									
実務経験との 関連	実務経験 の有無	有	(齋藤昭)公立小学校長の経験を活かし、教育実習の目的、心得、学習指導、生徒指導の方法など、教育実習中の実際の場面に生かしていける講義内容としていく。							

【2712】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目		授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科								
教育実習(小)		実習		教職課程委員会(小)		4年	前期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無					
4			必修		選択			小学校	幼稚園	保育士						
					4			○			実習校の評価	80	有			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解			≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル 数量的 スキル 情報リテラシー 論理的 思考力 問題 解決力					≪態度・志向性≫ 自己 管理力 チーム ワーク リーダー シップ 倫理 観 社会的 責任 生涯 学習力			《獲得した能力を総合的に 利用し自ら設定した課題へ適 用し、その課題を解決する能力》 その他				
	○	—	—	○	—	○	○	○	○	○	—				○	
当該科目の キーワード	≪知識・理解≫			校務に関する体系的理解・指導力					実習校から返却された実習録の内容 確認後、所見とともに返却する。 アクティブラーニングの有無 (内容)							
	≪汎用的技能≫			コミュニケーション・スキル												
	≪態度・志向性≫			教員としての倫理観												
授業概要	小学校での児童との直接的教育活動を通して、授業実践力、児童指導研究、学級経営、学校校務等を体験し、理解することによって学校教育実践力の基礎を体得する。										実習のため。 指導案作成、授業の準備、 教育実習反省報告会の準備など。					
授業の 到達目標	将来、小学校教員としての資質を身につけるために、大学における学習を基に現場での体験を通して、教育への情熱、児童成長のための愛情精神と指導法および教育者としての校務の基本を体得する。															
単位認定の要件	実習終了後、各実習校からの評価から本学所定の評価基準に基づき単位化する。															
授業計画 (予習、復習の内容・ 時間含む)	内 容															
	<p>【実習校および実習期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習校は弘前市内の教育実習協力校20校。 ・実習期間は8月中旬～9月中旬までの18日間(土日、祝日を除く。詳細は各実習校の日程に従う)。 <p>【ガイダンス・事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習準備として事前にガイダンスを数回行う。実習希望者は必ず出席すること。 ・また「事前事後指導」(1単位)において実習にあたっての心構えや校務に関する予備知識および教育活動の基本を学ぶ。 ・実習参加にあたっては弘前市教育委員会の実習実施ガイドラインに従うこと。 <p>【実習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級活動や学習活動の観察、参加 ・学級運営のための実習(部分実習、全体本実習) ・上記以外の学校運営に関わる校務に参加 ・実習中は実習録に日々の活動内容等を記録し、指導担当教員の確認を受ける。 ・実習終了後、実習の振り返りとして実習体験記録を作成し、実習生による反省会(3年次との交流会)で活動内容の報告を行う。 ・実習前は、学習指導に必要な教科単位の習得すること。実習中は健康管理に注意し、実習校では礼節をもって行動し、児童理解・教育現場の理解につとめる。 <p>【実習実施の認定方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育実習に関し、実習希望者は4年次年度初めに本学学則により資格認定審査を受け、教授会において承認を得る。 ・実習先は、承認を受けた者の希望をもとに小学校教職課程委員会が調整し決定する。 <p>【その他の実習について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育実習希望者は、3年次10月か11月に小学校現場体験の一環として実施される観察実習、および4年次6月に実施される小規模校観察実習に参加する。 <p>【授業時間外学習の指示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育実習中に必要とされる知識・指導法について学習する。指導案作りや教材研究などは時間を十分にかけて行い、18日間の実習を全うできるよう日々学習すること。 															
教科書・教材	『小学校学習指導要領解説』(文部科学省)、児童用教科書、教員用指導書															
参考書・ 参考文献等	研究授業に必要な各教科のについての書籍など(各自が必要とするもの)															
履修上の 注意等	教育実習を履修する者は、前期に実施される学校教育体験実習Ⅰと後期に実施される学校教育体験実習Ⅱもあわせて履修しなければならない。新型コロナウイルス対策については関係各署の指示に従うこと。															
実務経験との 関連	実務経験 の有無	無														

【2713】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
教職実践演習(幼・小)			演習	齋藤雅俊・他	4年	後期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無						
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士							
2	15	30		2		○	○		期末試験						
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート						
	基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーション スキルの	数量的 スキル	情報リテラシー 論理的 思考力	問題 解決力	自己 管理能力	チーム ワーク	リーダー シップ	倫理 観	社会的 責任	生涯 学習 能力	《獲得した能力を 総合的に利用し、 自ら設定し、その 課題を解決する 能力》	授業内小テスト	20
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	授業内提出物	80	無
													その他		
													計	100	
													フィードバックの方法		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		4年間の教職課程を通して得た知識・理解についての振り返りと再確認									ワークシートや授業内提出物につ いては返却する。			
	《汎用的技能》		ワークショップ形式のアクティブラーニングによる汎用的技能の形成												
	《態度・志向性》		教員として必要不可欠な社会性や対人関係能力、使命感や責任感等の態度の形成									アクティブラーニングの有無 (内容)	有		
授業概要	大学4年間で学んだ学習知と教育実習等で得られた教科指導力や生徒指導力の実践知との更なる統合を図り、教員としての使命感や責任感、教育的愛情に裏打ちされた確かな実践的指導力を有する教員としての資質の構築とその確認を行うために開設する。演習形態を中心として、講義、事例研究、グループ討論、発表、ロールプレイング、フィールドワーク、模擬授業等を組み合わせ実際の教育現場を想定した教育課題を取り扱う。											ワークショップ形式の授業			
授業の 到達目標	教員としての資質の構築と確認 ①教員としての使命感や責任感、教育的愛情 ②教員としての社会性や対人関係能力 ③幼児・児童への理解や学級経営能力 ④教科・保育内容等の指導力等の構築と確認														
単位認定の要件	担当教員が各回ごとに評価を行い、その平均を最終的な総合評価とする。(各回課題に対する討論・発表:80点[配点内訳:教職実践力指標4事項につき各20点]+レポート等提出物:20点=100点)※基本的に欠席した回の評価は0点となるが、欠席等で欠席した場合に限り、授業内提出物分として追加課題等で一定の評価を認める場合がある。														
授業計画 (予習、復習の内容 ・時間含む)	回	内 容													
	1	本演習の目的と計画・これまでの学修の振り返り(齋藤雅俊) 予習:(60分) Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。 復習:(60分) 授業の内容を振り返る。													
	2	教職の意義及び教員の役割に関する探求(齋藤雅俊) 予習:(60分) Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。 復習:(60分) 授業の内容を振り返る。													
	3	教員の職務内容及び子どもに対する責任感や教育的愛情等に関する探求(齋藤雅俊) 予習:(60分) 教育実習校・体験学習校において、教員はどのような係や仕事をしているか調べてくること 復習:(60分) 話し合いの中で、必要とされた仕事は、誰のために、どのような効果が得られるかをレポートにまとめること。													
	4	教員としての使命感や責任感、教育的愛情等に関する探求(齋藤雅俊) 予習:(60分) 教師に必要とされる使命、専門性、総合的な人間力について中教審の答申を参考にまとめること。 復習:(60分) 子ども理解力、生徒指導力を高めるために、普段、教師はどのようなことに心掛けるべきか、自身の考えをレポートにまとめること。													
	5	教員組織の一員としての自覚に関する探求(小林琢哉、萩原美紀) 予習:(90分) 組織の一員として教員に求められる行動にはどのようなものがあるかを考え、まとめる。 復習:(90分) 授業を通じて教員組織の一員として行動する際の自分の課題について考察する。													
	6	教員と保護者や地域の関係者との人間関係の構築等に関する探求(小林琢哉、萩原美紀) 予習:(90分) 学校と保護者や地域の関係者との連携に関する事例の概要を調べておく。 復習:(90分) 教員として保護者・地域の関係者とのように人間関係を築いていくかを考察しまとめる。													
	7	教員としての社会性や対人関係能力等に関する探求(小林琢哉、萩原美紀) 予習:(90分) 社会性や社会的スキルの定義や測定方法について調べる。 復習:(90分) 自分の対人関係能力のあり方を確認し、今後の課題を検討する。													
	8	幼児児童等への理解と学級経営等に関する探求(齋藤昭、安川由貴子、吉田裕美子) 予習:(60分) 小)Googleクラスルームに掲載した講義資料の課題について自分の考えをまとめておく。(90分 幼)期別 発達の姿とわらい)作成について 復習:(90分 小)講義資料をもとに講義内容を復習する。(90分 幼)5領域についての理解													
	9	学級経営に関する具体案の作成とその検討(齋藤昭、安川由貴子、吉田裕美子) 予習:(60分) 小)Googleクラスルームに掲載した講義資料の課題について自分の考えをまとめておく。(90分 幼)期別計画と指導計画について 復習:(90分 小)講義資料をもとに講義内容を復習する。(90分 幼)期案と週案の違いや書き方について													
	10	教員としての社会性、対人関係能力、幼児児童等への理解と学級経営等に関する探求(齋藤昭、安川由貴子、吉田裕美子、ゲストスピーカー) 予習:(60分) 小)Googleクラスルームに掲載した講義資料の課題について自分の考えをまとめておく。(90分 幼)事例「クラスがバラバラ」「みんなで力を合わせよう」について 復習:(90分 小)講義資料をもとに講義内容を復習する。(90分 幼)クラス経営についての理解													
	11	小学校教科・幼稚園保育内容等の指導力等に関する探求①(安川由貴子、齋藤昭、吉田裕美子) 予習:(60分) 小)Googleクラスルームに掲載した講義資料の課題について自分の考えをまとめておく。(90分 幼)模擬保育について 復習:(90分 小)講義資料をもとに講義内容を復習する。(90分 幼)模擬保育の手順や流れの把握、準備の確認をする。													
	12	小学校教科・幼稚園保育内容等の指導力等に関する探求②(安川由貴子、齋藤昭、吉田裕美子) 予習:(60分) 小)Googleクラスルームに掲載した講義資料の課題について自分の考えをまとめておく。(90分 幼)模擬保育(1班)について 復習:(90分 小)講義資料をもとに講義内容を復習する。(90分 幼)模擬保育についての反省と振り返り、講評。													
	13	小学校教科・幼稚園保育内容等の指導力等に関する探求③(安川由貴子、齋藤昭、吉田裕美子) 予習:(60分) 小)Googleクラスルームに掲載した講義資料の課題について自分の考えをまとめておく。(90分 幼)模擬保育(2班)について 復習:(90分 小)講義資料をもとに講義内容を復習する。(90分 幼)模擬保育についての反省と振り返り、講評。													
	14	小学校教科・幼稚園保育内容等の指導力等に関する探求④(安川由貴子、齋藤昭、吉田裕美子) 予習:(60分) 小)Googleクラスルームに掲載した講義資料の課題について自分の考えをまとめておく。(90分 幼)模擬保育(3班)について 復習:(90分 小)講義資料をもとに講義内容を復習する。(90分 幼)模擬保育についての反省と振り返り、講評。													
15	14回の総括と確認結果に基づく本演習の補充・再総括と確認(まとめ)(齋藤雅俊 他) 予習:(60分) Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。 復習:(60分) 授業の内容を振り返り、自己評価をする。														
教科書・教材	授業中に適宜紹介する。														
参考書・ 参考文献等	授業中に適宜紹介する。														
履修上の 注意等	授業内活動が中心となる授業であり、追・再試もできない性格のものであるため、欠席は極力控えること。また、『ポートフォリオ』を活用した振り返りと残された課題等の発見に留意し、ポートフォリオの最終ページを飾るレポート作成に心がけること。														
実務経験との 関連	実務経験 の有無	有	(齋藤昭)小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を生かして、教材研究、授業展開、児童理解、生徒指導、学習評価の仕方などについて、具体的に指導していく。												

【2714】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目		授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科												
学校教育体験実習Ⅰ(小)		実習		教職課程委員会(小)		4年	前期	こども発達学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格					単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修		選択			小学校	幼稚園	保育士										
1			1					○					実習校の評価	80	有					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》			《汎用的技能》					《態度・志向性》					委員会の評価			20	有		
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》			その他		
	○	—	—	○	—	○	—	○	○	○	—	○	○	—	○	計			100	
	フィードバックの方法																			
	当該科目のキーワード												実習校から出される所見および日々の活動記録、レポートを返却し、講評する。			アクティブラーニングの有無(内容)			有	
授業概要		弘前市内の実習協力校にて実際に学校教育活動に参加し、小学校の一日および一年間の様子を体験する。児童や学級担任、小学校教員たちとの交流と活動を通し、小学校教諭に必要とされる基礎知識と基本的指導力を育成する。またこの実習での経験と学びを、教育実習の場で活かし、実習内容の充実を図る。												実習のため。授業の準備、観察、補助。活動内容の記録、指導案作成など。						
授業の到達目標		教育実習の準備段階として、学校生活の基礎・基本を体得する。配属された学級の学習活動に参加し、児童理解や学級経営、授業の準備や展開方法などの基礎知識を学ぶ。																		
単位認定の要件		日々の活動記録と実習終了後のレポート提出および実習校からの成績表の点数化により単位認定を行う。																		
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)		<p align="center">内 容</p> <p>・期間および回数 5月～7月 週1回(火曜日) 計10回 時 間 8:00 ～ 16:00(実習校の指示に従う)</p> <p>・体験実習校 弘前市公立小学校(市内教育実習協力校)</p> <p>・主な活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校の教育方針、学校行事、日課について理解する。 2. 学級と児童との関わり、対応の考え方、方法等を観察しながら学習する。 3. 学習指導と学級経営の基本的技術を学ぶ。 4. 担当教員の指導のもと、授業補助や準備、ドリルの採点などに携わる。 5. クラブ活動や様々な教育活動に取り組む。 <p>* 大学での事前指導・ガイダンスの内容を踏まえ、実習校の教育活動を妨げてはならない。 * 実習中は、実習校にて出勤簿に捺印し、日々の活動記録を担当教員に提出する。 * 実習後は、報告・日々の活動記録を小学校教諭課程委員会へ提出すること。 * 教師となる意思を持ち、10回の実習をやり遂げるために、自己管理や健康管理に努める。 * 体験実習校と相談し確認しながら、また受けた助言は真摯に受け止め、前向きな姿勢で体験実習に取り組むこと。 * 新型コロナウイルス感染症対策については関係各署の指示に従うこと。</p> <p>【授業時間外学習の指示】 ・配属された学校、学級、児童を理解するために、また教育活動で何が必要かなど、自分に不足しているものを把握し、実習日の事前や事後に学習すること。</p>																		
教科書・教材		特になし。※教育活動や児童理解に必要と思われる書籍や情報は積極的に活用・勉強し、現場理解に努めること。																		
参考書・参考文献等		令和5年度 学校教育体験実習Ⅰ 小学校教育実習 体験録『向日葵』を読み、実習校と実習内容について学んでおくこと。																		
履修上の注意等		学校教育体験実習Ⅰ履修者は教育実習および学校教育体験実習Ⅱもあわせて履修しなければならない。																		
実務経験との関連		実務経験の有無	無																	

【2715】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目		授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科												
学校教育体験実習Ⅱ(小)		実習		教職課程委員会(小)		4年	後期	こども発達学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格					単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修		選択			小学校	幼稚園	保育士										
1			1					○					実習校の評価	80	有					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》			《汎用的技能》					《態度・志向性》					委員会の評価			20	有		
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》			その他		
	○	—	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	計 100				
	フィードバックの方法																			
	当該科目のキーワード												実習校から出される所見および日々の活動記録、レポートを返却し、講評する。							
《知識・理解》			児童・校務理解、指導力									アクティブラーニングの有無(内容)			有					
《汎用的技能》			コミュニケーション・スキル 問題解決力																	
《態度・志向性》			教員としての倫理観																	
授業概要		学校教育体験実習Ⅰ、教育実習での教育体験に引き続き、教育者としての資質および実践力向上のために、学校教育活動全般について学ぶ。将来の教育活動に役立つようにするとともに、体験実習校の教育活動充実のための補助・支援活動に参加する。										実習のため。授業の準備・補助、教育実習反省報告会の準備や発表など。								
授業の到達目標		教育実習終了後、さらに教員としての役割、責任、喜びを実感し、教育活動の総合的な能力を高め、教員としての資質および実践的な指導力を向上させる。																		
単位認定の要件		日々の活動記録と実習終了後のレポート提出、実習校からの成績を点数化し単位認定を行う。																		
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)		<p align="center">内 容</p> <p>・期間および回数 10月～12月 週1回(金曜日) 10回 時 間 8:00～16:00(実習校の指示に従う)</p> <p>・体験実習校 弘前市内公立小学校(教育実習指定協力校)</p> <p>・主な活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育方針、学校行事、日課について理解する。 2. 学級と児童との関わり、対応の考え方、方法等も観察しながら学習する。 3. 学習指導および学級経営の技術指導法と技術の基礎を学ぶ。 4. 教員指導のもと、授業補助や準備、ドリルの採点補助などに携わる。 5. クラブ活動や様々な教育活動に取り組む。 <p>* 大学での事前指導・ガイダンスの内容を踏まえ、実習校の教育活動を妨げてはならない。 * 実習中は、実習校にて出勤簿に捺印し、日々の活動記録を担当教員に提出する。 * 実習後は報告、日々の活動記録を委員会に提出する。 * 体験実習Ⅰおよび教育実習で習得したことを更に向上させるためにも、謙虚な姿勢を忘れずに意欲的に取り組む。 * 新型コロナウイルス感染症対策については関係各署の指示に従うこと。</p> <p>【授業時間外学習の指示】 ・体験実習Ⅰおよび教育実習で得た知識や技術の定着と向上、不足しているものを補完するために必要なことを学習すること。</p>																		
教科書・教材		『小学校学習指導要領解説』(文部科学省)、児童用教科書、教員用指導書など																		
参考書・参考文献等		特になし ※ただし教育活動や児童理解に必要と思われる書籍や情報は積極的に活用し、現場理解に努めること。																		
履修上の注意等		学校教育体験実習Ⅱは学校教育体験実習Ⅰおよび教育実習とあわせて履修しなければならない。																		
実務経験との関連		実務経験の有無	無																	

【2801】 専門教育科目 保育士に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
子ども家庭福祉Ⅰ			講義	小野昇平	4年	前期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
2	15	30		2				○	期末試験	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末レポート 70 有 授業内小テスト 授業内提出物 30 有 授業内活動 その他 計 100 フィードバックの方法	
	○	—	○	—	—	—	—	○		—
	≪知識・理解≫ 子ども家庭福祉の諸政策		≪汎用的技能≫ 子どもを巡る現代的問題			≪態度・志向性≫				毎回提出してもらいミニレポートは、コメントを付けて返却する。
	≪知識・理解≫ 子ども家庭福祉の諸政策		≪汎用的技能≫ 子どもを巡る現代的問題			≪態度・志向性≫				アクティブラーニングの有無(内容) 有
授業概要	保育士は、「児童の保育および保護者に対する指導を行う」子ども家庭福祉の専門職であり、子どもを保育するだけではなく、地域における子どもや家庭に関する諸問題についての支援者としての役割も求められる。それゆえこの講義では、子ども家庭福祉の諸制度に共通する総論部分についての理解を深めると同時に、現代の子どもや家庭が置かれている社会の状況についても深く考えることを目的とする。								ミニレポート 教員による授業中の問いかけ	
授業の到達目標	①子ども家庭福祉の各種サービスに共通する点について、専門職としての保育士に求められる最低限の知識を身に着けること。 ②現代の日本社会の現状や特徴を踏まえて、子ども家庭福祉の法制度(共通部分)に内在する根本的な問題を、おおまかにでも自分の言葉で説明できるようになること。									
単位認定の要件	到達目標①②の観点から評価した結果が60点以上。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	なぜ「児童福祉」ではなく「子ども家庭福祉」なのだろうか？ 予習：図書館で「子ども家庭福祉」というタイトルの本を探し、目次を(分) 復習：授業の中で話した「家庭の養育基盤の弱体化」がどういうことなのか説明できるようにしておく。(90分)								
	2	子どもや家庭を巡る現代社会の現状を理解しよう 予習：「家庭の養育基盤の弱体化」が一因となって生じると考えられる子どもに関する社会的問題を最低2つ考えてくる。(90分) 復習：予習で考えた具体的な問題が社会の変化によって起こっていることを説明できるようにしておく。(90分)								
	3	子ども家庭福祉に関する具体的な問題をいくつか見てみよう 予習：ダウンタウンWebで「伝説のお母さん」を読んで、この授業との関係を説明できるようにしておく。(90分) 復習：VTR中に出てこなかった子ども家庭福祉に関する現代的課題を3つ考える。(90分)								
	4	子ども家庭福祉の理念と歴史①—「子ども」観の変遷を理解しよう 予習：「子どもの権利」という言葉の意味を調べてくる。日本の戦国時代の子どものように扱われていたか考える。(90分) 復習：「子どもの権利条約」の内容について、ユニセフのホームページなどで調べて理解する。(90分)								
	5	子ども家庭福祉の理念と歴史②—「子どもの最善の利益」とはということだろうか？ 予習：授業内で紹介したWebサイトをみて、子どもの権利の歴史について理解してくる。(90分) 復習：授業で配布した資料を読んでおく。(90分)								
	6	子ども家庭福祉法制の全体像を見てみよう 予習：全国社会福祉協議会HPから「子どもの福祉」についてのサイトを見て、どのような制度があるか調べてくる。(90分) 復習：授業で紹介した制度の中で自分が重要だと思った制度について厚労省や市のHPから調べておく。(90分)								
	7	子ども家庭福祉の諸政策を巡る都道府県と市町村の役割分担を考えよう 予習：授業で配布した資料をよく見て、気づいたことを最低3つメモしておく。(90分) 復習：青森県の子ども未来課のHPと、弘前市の子ども家庭課のHPを見比べて、授業内容を復習する。(90分)								
	8	様々な児童福祉施設の役割について理解しよう—小テスト 予習：児童福祉施設の種類、どのような子どもたちが利用できるのかを調べてくる。(90分) 復習：小テストの解答解説をよく読んで、自分がよく知らなかった施設についてはWebで調べる。(90分)								
	9	児童福祉施設による社会的養護とその問題点を考えよう 予習：社会的養護の授業で学んだことを振り返って、授業で渡された資料に目を通しておく。(90分) 復習：「社会的養護の小規模化」がなぜ必要なのかを説明できるようにしておく。(90分)								
	10	子ども家庭福祉の専門職にはどのような職種があるのだろうか？これらの職に求められるものは何だろうか？ 予習：保育士以外の子ども家庭福祉の専門職にはどのようなものがあるか、調べられる限り全部調べてくる。(90分) 復習：授業で配布した参考資料に目を通して、子ども家庭福祉の専門職の資質について理解する。(90分)								
	11	子育て支援の諸政策について現状を理解し、問題点を考えよう 予習：「子育て支援」とは具体的にどのようなことが、Webなどで調べてくる。(90分) 復習：授業内で説明した子育て支援政策が弘前市でどのように行われているか調べる。(90分)								
	12	多様な保育ニーズへの対応を考えよう 予習：保育所以外の保育サービスにはどのようなものがあるか調べてくる。(90分) 復習：授業内で紹介した保育サービスが弘前市でどのように行われているか調べてくる。(90分)								
	13	子ども子育て支援新制度で何が変わったのだろうか？ 予習：内閣府の「子ども子育て支援新制度」HPを見て、その概要を説明できるようにしておく。(90分) 復習：子育て支援新制度の「新しい」点について、授業内容を振り返り、まとめておく。(90分)								
	14	子ども子育て支援新制度で解決されていないこと 予習：厚労省「子ども子育て支援」HPから、授業の中で出てきていない子ども子育て支援の問題を見つける。(90分) 復習：授業で見たVTRで出てきたいくつかの問題について、現在どのようになっているか調べる。(90分)								
	15	世界と日本の子どもたち—子どもの権利条約と子ども家庭福祉 予習：子どもの権利条約の条文をよく読んでおく。日本以外の国で子どもたちがどのような困難を覚えているか調べる。(90分) 復習：授業内で紹介した動画を改めて見返しておく。(90分)								
教科書・教材	特になし。ただし講義中に紹介する参考書を手元に用意しておくことを推奨する。									
参考書・参考文献等	講義内で案内する。									
履修上の注意等	主として子ども家庭福祉の総論部分を取り上げ、虐待の問題や障害児支援など、具体的な子ども家庭福祉サービスの各論部分については、後期に開講する「子ども家庭福祉(2)」で扱うこととする。									
実務経験との関連	実務経験の有無	無								

【2802】 専門教育科目 保育士に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科						
子ども家庭福祉Ⅱ			講義	小野昇平	4年	後期	こども発達学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無				
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士					
2	15	30		2					□				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末試験			
										期末レポート	70	有	
											授業内小テスト		
											授業内提出物	30	有
										授業内活動			
										その他			
										計	100		
										フィードバックの方法			
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫		子ども家庭福祉の諸サービスの概要			子ども家庭福祉の現代的課題とその解決法				毎回の講義で提出されるミニレポートはコメントを付した上で返却する。			
授業概要										アクティブラーニングの有無(内容)	有		
授業の到達目標										前期の「子ども家庭福祉Ⅰ」の内容を踏まえ、児童虐待や障害児支援、非行少年の保護更生など、個別の子ども家庭福祉の制度について説明し、これらに関連する現代的課題についてコメントシートに自分の意見を書いてもらう。講義終盤には、いわゆる赤ちゃんポスト(このよりのゆりかご)の設置(存続)の是非の問題を素材として、「子どもの権利」や「子どもの最善の利益」の概念についての理解を基に、子どもや家庭を巡る現代的課題の解決策を考える。	教員と受講生とで対話をしながら授業を進めていく		
単位認定の要件										①②③の観点からの評価が60%以上			
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容											
	1	イントロダクション—親は子どもに何が出来るのかを考えよう。 予習:「親権」という言葉の意味を調べて説明できるようにしておく。(90分) 復習:「親権」の限界を説明できるように授業内容を復習しておく。(90分)											
	2	現代日本の家族像について改めて考えよう 予習:「親子」の形を考えられる限り多く考えてくる。(90分) 復習:生殖補助医療を利用した親子関係についてニュース記事などで実例を調べ、復習する。(90分)											
	3	児童虐待①—児童虐待の現状と対策の沿革を学ぼう 予習:児童虐待とはどのようなことか、最近相談対応件数が増えているのはどうしてか、調べてくる。(90分) 復習:児童虐待に関する最新のニュースを調べ、授業内容を踏まえてその原因を考えてみる。(90分)											
	4	児童虐待②—児童福祉法に基づく虐待への対応(要保護児童対策)を理解しよう 予習:児童福祉法第28条をよく読む。配布された資料を読んでおく。(90分) 復習:虐待された子どもたちが保護されるまでの流れを説明できるようにしておく。(90分)											
	5	児童虐待③—児童虐待防止法に基づく虐待への対応の流れを理解しよう 予習:児童虐待防止法が作られることになった経緯を調べてくる。(90分) 復習:児童虐待防止法の内容について説明できるように授業内容を復習しておく。(90分)											
	6	児童虐待④—児童虐待と親子関係(親権の問題)について考えよう 予習:「親権の停止」「親権の喪失」について調べてくる。(90分) 復習:授業で配布した資料を見て、「停止」と「喪失」の違いを説明できるようにしておく。(90分)											
	7	配偶者間暴力(DV)への対応について概要を理解し、問題点を考えよう 予習:DV対策の制度について調べてくる。(90分) 復習:DV対策の不十分な点について、授業内容を踏まえて説明できるようにしておく。(90分)											
	8	DV問題と「子の連れ去り」について考えよう 予習:「一方親による子の連れ去り」「子の奪取」について調べてくる。(90分) 復習:DVからの避難と「子の連れ去り」の関係について授業内容を踏まえて説明できるようにしておく。(90分)											
	9	母子保健サービスの概要と課題を理解しよう 予習:妊娠してから出産までおよび子ども期の「健診」にはどのようなものがあるか、調べてくる。(90分) 復習:健診以外の母子保健政策について、厚労省HPなどで授業内容を復習しておく。(90分)											
	10	障害児に対する支援はどのようにになっているかを理解しよう。 予習:厚労省HPなどで障害児に対する支援の制度について調べてくる。(90分) 復習:障害児支援の種類について、授業内容を説明できるようにしておく。(90分)											
	11	障害児と学校教育、出生前診断の問題点を考えよう 予習:出生前診断とはどういうことか、Web等で調べて、何が問題が説明できるようにしておく。(90分) 復習:授業の内容を踏まえて、出生前診断についての最新のニュースを調べておく。(90分)											
	12	少年法①—非行少年の処遇の流れと保護処分について理解しよう 予習:社会的影響が大きかった少年事件を最低3つ調べてくる(90分) 復習:少年事件の流れ図と通常の刑事事件の流れ図を見比べて、違いを説明できるようにしておく。(90分)											
	13	少年法②—虐待少年、触法少年の処遇について理解し、少年犯罪の厳罰化問題について考えよう 予習:「虐待少年」がどうして少年法の手続きに含まれるのか、Web等で調べておく。(90分) 復習:少年の厳罰化についての自分の意見を整理しておく。(90分)											
	14	赤ちゃんポスト①:赤ちゃんポストの存在意義を考えよう 予習:「赤ちゃんポスト」とは何か、どのような目的があるのかなどを調べてくる。(90分) 復習:授業で配布した資料に目を通し、赤ちゃんポストの現状を説明できるようにする。(90分)											
	15	赤ちゃんポスト②:赤ちゃんポストに預けられた子のその後を考えよう 予習:「特別養子縁組」がどのような場合に認められるのか、問題は何かについてWeb等で調べておく。(90分) 復習:赤ちゃんポストに預けられた子の「その後」について授業内容を復習しておく。(90分)											
教科書・教材	特になし												
参考書・参考文献等	講義中に紹介する												
履修上の注意等	講義の中で生じた疑問等は毎回の出席表下部の質問事項欄に積極的に記入すること。												
実務経験との関連	実務経験の有無	無											

【2818】 専門教育科目 保育士に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
保育実践演習			演習	安川由貴子	4年	後期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士				
2	15	30		2				○	期末試験			
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート 40 無 授業内小テスト 授業内提出物 25 有 授業内活動 35 有 その他
	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
当該科目のキーワード		≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫	保育者として必要な保育に関する専門的知識及び技術 子ども・保護者理解を踏まえた総合的な判断力・対応力 保育内容の指導力、保育実践の省察と保育者の生涯学習力							ミニ発表用の授業内提出物は、受講者分を印刷し、発表時に内容を共有する。コメントペーパーの内容や質問は授業内に適宜共有し、学びを深める手立てとする。 アクティブラーニングの有無(内容) 有		
授業概要		本科目は、保育士資格取得に関わる学習の総まとめにあたる科目であり、保育士として必要な知識・技能が身についているか確認ができるよう、保育に関わる諸テーマについて、講義、グループ討論、ロールプレイング、事例検討などの方法を組み合わせて実施する。							グループディスカッション、発表			
授業の到達目標		保育士として必要な保育に関する専門的知識及び技術、総合的な判断力、倫理観等が修得、形成されたか、自らの学びを振り返り確認し、自己課題を明確化する。また、保育実習等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき、保育に関する現代的課題についての現状分析、考察、検討を行い、問題解決のための対応、判断方法等について学びを深める。これらを踏まえ、自己の保育実践を反省し、課題を見出す力を養うとともに、保育の実践に対して必要となる基礎的な資質・能力の定着を図る。										
単位認定の要件		到達目標に対し、総合的に評価して合計が60点以上であること。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)		回	内容									
		1	ガイダンス、学習の振り返りと保育者として必要な資質能力 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。									
		2	最近の保育をめぐる状況①子ども・子育て支援新制度について、こども家庭庁の設置とこども基本法について 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。									
		3	最近の保育をめぐる状況②幼児教育・保育の無償化について 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。									
		4	社会性・対人関係能力①コミュニケーション能力について(グループ討論と発表) 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。									
		5	社会性・対人関係能力②レジリエンスについて(グループ討論と発表、視聴覚教材) 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。									
		6	子ども理解と子どもへの対応①実習経験から子ども理解を深める(グループ討論と発表) 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。									
		7	子ども理解と子どもへの対応②事例検討、子どもを理解することは 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。									
		8	保護者との連携(連絡帳、保育の記録の実践演習) 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。									
		9	家庭・地域との連携①子どもの命や安全を守るために(視聴覚教材) 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。									
		10	家庭・地域との連携②子どもの命や安全を守るために(グループ討論と発表) 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。									
		11	家庭・地域との連携③子どもの命や安全を守るための保育実践 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。									
		12	保育における現代的課題①小学校との連携(グループ討論と発表) 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。									
		13	保育における現代的課題②異年齢の子どもとの関わりを通じた保育(グループ討論と発表) 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。									
		14	保育における現代的課題③多文化共生社会における保育 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。									
		15	保育における現代的課題④自然との関わりを通じた保育(視聴覚教材)、保育職の意義や保育者の役割 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。									
教科書・教材		特になし。レジュメ、資料を配布する。										
参考書・参考文献等		厚生労働省編『保育所保育指針解説』、文部科学省『幼稚園教育要領解説』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』(フレーベル館)										
履修上の注意等		本科目は卒業後も自ら研究・修養をすすめるための基礎となることをふまえ、主体的に課題に取り組むよう心がけること。グループディスカッションやミニ発表の機会も設けるため、積極的な参加を期待します。										
実務経験との関連		実務経験の有無	無									